



谷口かずふみ 県政ジャーナル

谷口かずふみ 県政ジャーナル 発行 / 2021年 夏号 発行責任者：公明党 神奈川県議会議員 谷口かずふみ

盛り土の緊急点検を早急に！

黒岩知事に緊急要望

静岡県熱海市で大規模な土石流災害が発生し、尊い生命と貴重な財産が失われる甚大な被害が発生。本県においても、被災箇所と同様の地域にお住まいの方々から、盛り土により土石流災害が発生しないか、不安の声が寄せられました。

神奈川県は届出制の静岡県とは異なり、一定規模以上の盛り土は許可制としていることから、施工前に擁壁や排水施設等の構造を審査し、盛り土工事の完了時には適切に施工されていることを確認しています。

しかし、現在施工が進んでいる盛り土箇所については工事が完了に至っていないため、今後台風シーズンを迎えるにあたり、安全性が十分確保されているか確認する必要があります。

そこで、7月8日午前、公明党は黒岩祐治知事に対し、安全性が十分に確保されているか不安な盛り土箇所について緊急に点検を行い、安全を確認することを要望。翌日午後、知事は定例記者会見で、県内で大規模な盛り土をしている造成地22カ所の安全確認を進める方針を明らかにしました。

緊急点検の結果「異常なし」

その後、県は7月15日に、22カ所の盛り土について、重大な土砂災害に直結する異常はなかったと発表しました。職員が現地確認を行い、土砂崩落や土石流などの大規模な土砂災害発生につながる異常（盛り土面の亀裂・陥没・浸食、排水不良等）がないか点検しました。

県では、「引き続き、現地の状況について、定期的に事業者から報告を受けるとともに、現地を随時点検し、問題が確認された場合は、速やかに安全な状態とするよう、事業者には是正指導を行う」としています。



障害者手帳、カード形式を導入へ

10月から選択可能に

「ケースから取り出すのが大変なので、カード化してほしい」障害者手帳は、縦長の紙を折り畳んだものであるため、これまでカード化を求める要望を数多くいただいていた。

こうした声を受けて、県当局に早期のカード化を求めるとともに、本会議で黒岩祐治知事に訴えかけました。

その結果、今年10月から、県が交付する身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳にカード形式が導入されることになりました。すでに手帳をお持ちで、カード形式を希望しない方は、紙形式の手帳をそのまま使用できます。

カードは耐久性に優れたプラスチック製で、運転免許証や健康保険証と同じ大きさです（写真）。

申請については、これから手帳の各種申請（新規、再認定、住所変更など）をする方は、10月から紙形式かカード形式のどちらかを選択できるようになります。身体障害者手帳と療育手帳をお持ちで、カード形式を希望される方は、7月から申請が始まりましたが、交付は10月以降となるということです。



本会議で知事に要望

公明党県議団は、2019年6月の代表質問で黒岩知事に対し、障害者手帳について、早期にカード化を進めるよう強く要望。

知事は、「手帳は、様々な場面で提示が求められますが、『長年の利用で紙が劣化した』、『他のカード類と一緒に持ち運びにくい』などの声があり、今後、カード形式での発行に取り組む」と明言していました。

公明党県議団は、今後も地域の方々の声をカタチにできるよう、全力を尽くしてまいります。